

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県業務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第28週 (ARIのみ第27週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (28 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、梅毒 3 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	肺結核	なし
		延岡	60歳代	女	リンパ節結核	咳
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	30歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O157(VT1,VT2)
			40歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1,VT2)
		高鍋	5～9歳	女	—	腹痛、水様性下痢、O111(VT1,VT2)
4類	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	30歳代	男	B型	全身倦怠感
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、丘疹性梅毒疹
			50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
		日向	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 437 人(定点当たり 25.0)で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

また、第 27 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,329 人(定点当たり 47.5)で、前週比 106%と増加した。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 232 人(8.3)で、前週比 91%と減少した。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 9 割を占めた。

【RS ウイルス感染症】

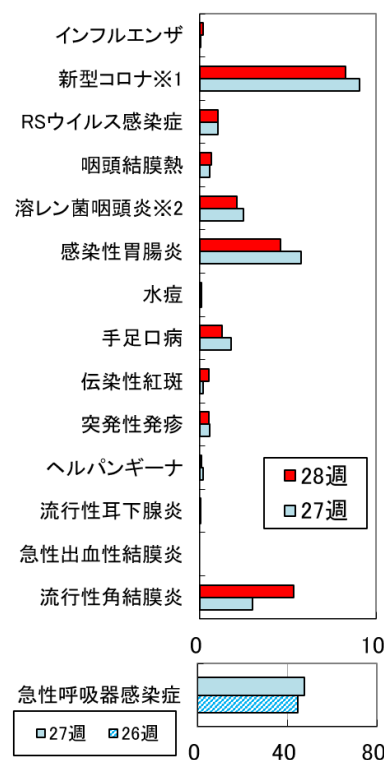
報告数は 16 人(1.1)で、前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.78)の約 1.4 倍であった。年齢群別は 1 歳が全体の約 6 割を占めた。

【流行性角結膜炎】

報告数は 32 人(5.3)で、前週比 178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約 2.1 倍であった。年齢群別は 1 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

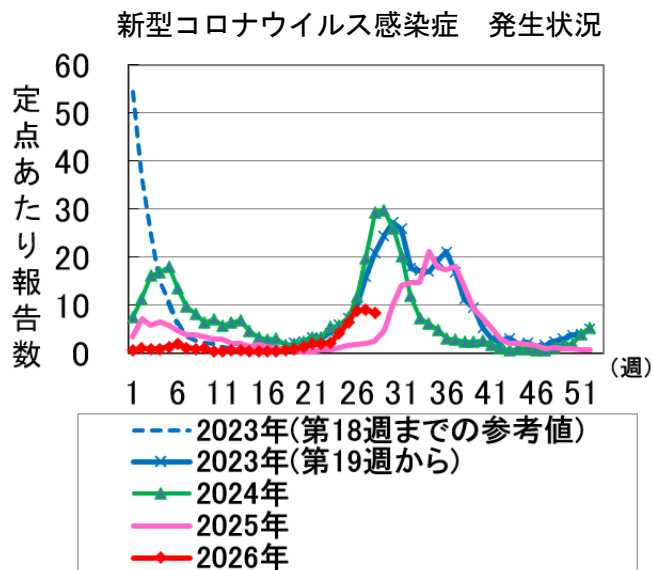
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

《前週との比較》



定点あたり報告数

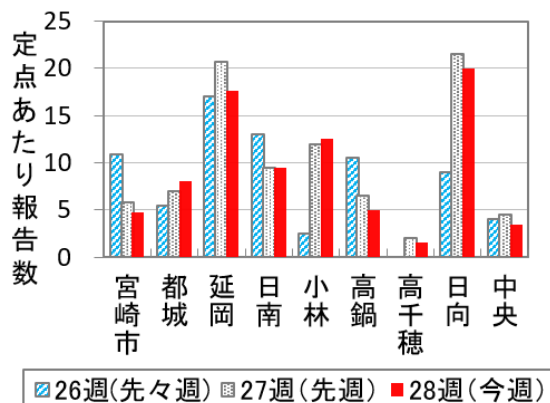
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



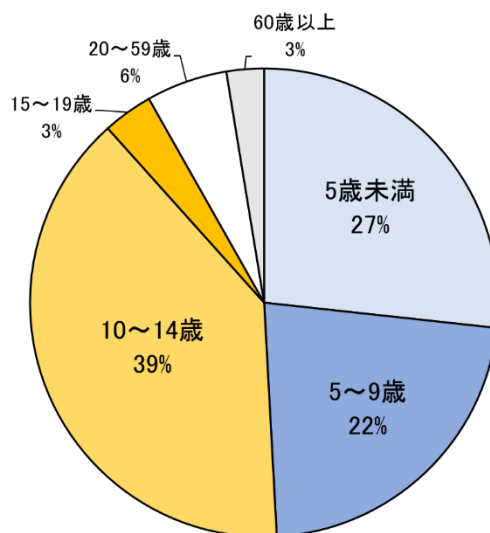
※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

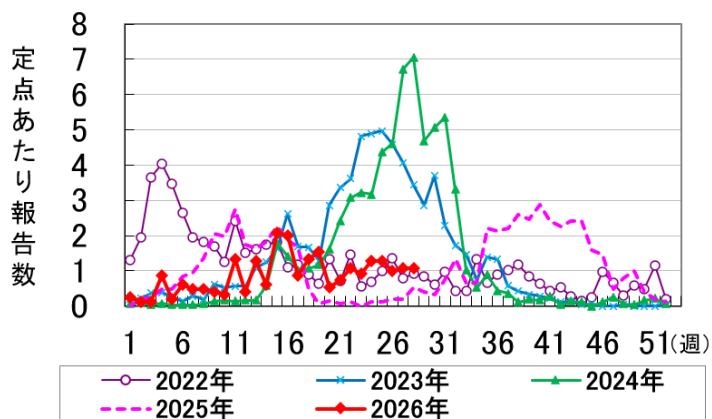
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症
年齢群別グラフ(第28週)

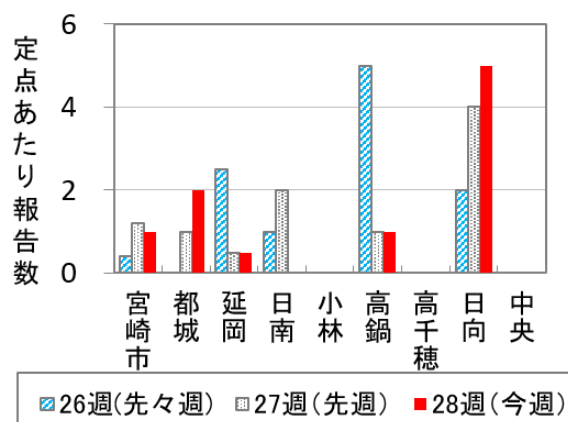


RSウイルス感染症 発生状況

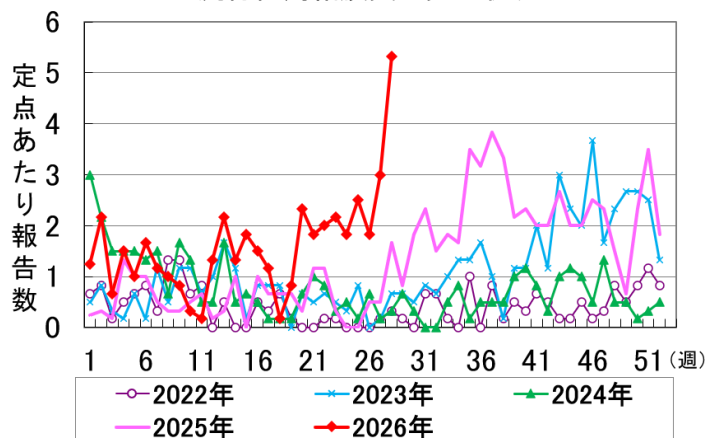


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

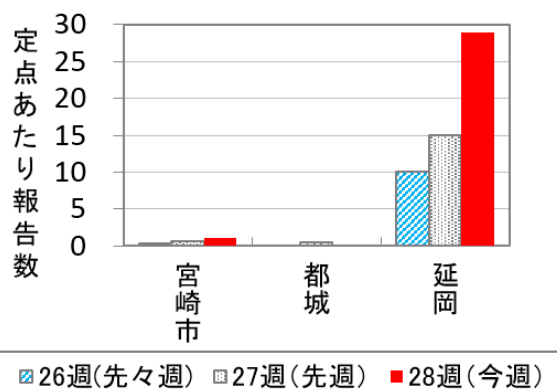
RSウイルス感染症
保健所別推移(3週分)



流行性角結膜炎 発生状況



流行性角結膜炎 保健所別推移(3週分)



※眼科定点医療機関は宮崎市、都城、延岡保健所管内のみです

★基幹定点からの報告★

報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	伝染性紅斑(2.5)
延岡	流行性角結膜炎(29.0)
日南	伝染性紅斑(3.0)
小林	手足口病(11.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(第27週:6月29日～7月5日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			5
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			3
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			3
受付検体数			12

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

✚ 全国 2026 年第 27 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	232 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	99 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	14 例	A型肝炎	11 例	エムボックス	4 例
	コクシジオイデス症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	6 例	デング熱	2 例
	日本紅斑熱	11 例	マラリア	4 例	レジオネラ症	83 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	17 例	急性弛緩性麻痺	1 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例
	後天性免疫不全症候群	24 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	32 例	水痘(入院例)	15 例	多剤耐性緑膿菌感染症	9 例
	梅毒	183 例	破傷風	4 例	百日咳	90 例
	麻しん	3 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 119%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 107%と増加した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 5,482 人(1.5)で前週比 136%と増加した。鹿児島県(13.1)、宮崎県(9.1)、愛媛県(8.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 15,845 人(7.0)で前週比 152%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.8)の約 1.5 倍であった。島根県(18.0)、佐賀県(11.8)、東京都(11.7)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 3,998 人(1.8)で前週比 154%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約 0.8 倍であった。山口県(6.0)、香川県(3.8)、佐賀県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の
当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2026 年 6 月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は36人(2.8)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年6月(2.2)の約1.2倍であった。

《疾患別》

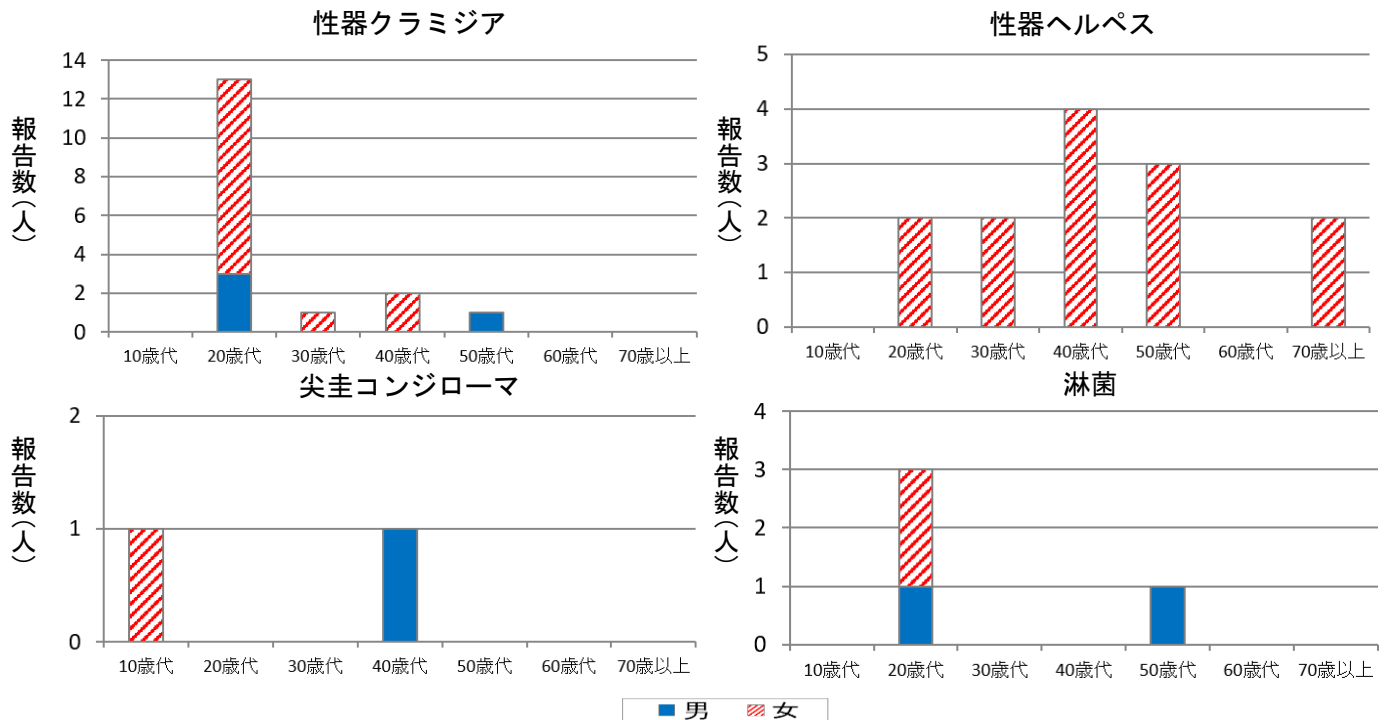
○性器クラミジア感染症：報告数17人(1.3)で、前月の約0.8倍、昨年6月の約1.2倍であった。

20歳代が全体の約8割を占めた。(男性4人・女性13人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数13人(1.0)で、前月の約1.9倍で、昨年6月の約1.3倍であった。(女性13人)

○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の約2.0倍、昨年6月と同率であった。(男性1人・女性1人)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.7倍、昨年6月の約1.3倍であった。(男性2人・女性2人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,507人(4.7)で、前月比110%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,344人(2.4)で前月比108%、性器ヘルペスウイルス感染症1,016人(1.1)で前月比117%、尖圭コンジローマ540人(0.56)で前月比117%、淋菌感染症607人(0.63)で前月比103%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比89%と減少した。また、昨年6月(1.6)の約1.5倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約0.9倍、昨年6月の約1.5倍であった。70歳以上が全体の半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,301人(2.7)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,267人(2.6)で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症34人(0.07)で前月比88%であった。

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	6	4				1				1
	定点当り	0.04	0.21	0.44	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	254	232	43	32	53	19	25	10	3	40	7
	定点当り	9.07	8.29	4.78	8.00	17.67	9.50	12.50	5.00	1.50	20.00	3.50
RSウイルス感染症	報告数	16	16	5	4	1			1		5	
	定点当り	1.07	1.07	1.00	2.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	5.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	10	6	2	1					1	
	定点当り	0.60	0.67	1.20	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	37	32	17	4	2	4		5			
	定点当り	2.47	2.13	3.40	2.00	1.00	4.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	86	69	17	11	3		14			19	5
	定点当り	5.73	4.60	3.40	5.50	1.50	0.00	14.00	0.00	0.00	19.00	5.00
水痘	報告数	2	2		1	1						
	定点当り	0.13	0.13	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	27	19	4		2		11			1	1
	定点当り	1.80	1.27	0.80	0.00	1.00	0.00	11.00	0.00	0.00	1.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	3	8		5		3					
	定点当り	0.20	0.53	0.00	2.50	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	9	8	4	1	1		1			1	
	定点当り	0.60	0.53	0.80	0.50	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	2				1	1				
	定点当り	0.20	0.13	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1		1							
	定点当り	0.07	0.07	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	32	3		29						
	定点当り	3.00	5.33	1.00	0.00	29.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第27週(06月29日～07月05日)

		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1251	1329	317	145	189	104	135	130	57	179	73
	定点当り	44.68	47.46	35.22	36.25	63.00	52.00	67.50	65.00	28.50	89.50	36.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～28週 保健所受理分)

2類感染症	結核	74例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	26例(3)				
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	7例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例(1)	クリプトスポリジウム症	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	水痘(入院例)	6例	多剤耐性緑膿菌感染症	2例	梅毒	36例(3)
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例	百日咳	41例
	麻疹	1例				

()内は今週届出分、再掲